

「赤い羽根えほん文庫」

あなたの募金が役立ちました
できたよ！

赤い羽根共同募金の配分金は、これまで高齢者や障がいのある方々のために活用することが多かったわけです。しかし、合併協議で「もっと広くそして子育てにがんばっている方々へも有効活用していこう」と協議されました。こ



幼児向け、児童向けなど、いろんな「えほん」がそろいました。

れにより、昨年度は人形劇の上演に活用しました。今回は子どもたちに「絵本」のすばらしさをもっと味わってもらおうと「赤い羽根えほん文庫」をつくりました。購入した絵本は、総数で二百冊あまり。全集や大型絵本、紙芝居もあります。

配置場所は、穴栗防災センター、一宮保健福祉センター、メイプル福祉センター、千種保健福祉センターです。五月の下旬には、手にとってみていただけるよう現在購入準備をすすめています。なお、絵本の選定は、図書館の司書や子育て支援センター担当者と相談して決めました。

みなさんの募金が子どもたちのために役立ちました。

穴栗市身体障害者福祉協会
総会・スポーツ大会

会長に中尾木一さん

新体制でスタート

四月二十二日（日）、市立神戸小学校体育館において、「平成十九年度地域啓発総合福祉大会及び穴栗市身体障害者スポーツ大会」が開催されました。

総会では、今年度の計画や予算が審議・決定され、新役員として次の方が選任されました。（敬称略）

【会 長】 中尾 木一
【副会長】 林 喜美夫
【副会長】 内海 英満
【副会長】 大前 孝史
【事務局長（会計兼務）】 勝木 音治郎

【監 事】 砂町 博美
【監 事】 池上 信義

また、同協会の育成強化な



当日は市内各地より120名の参加がありました。
（写真は室内ペタンク大会）

どの功労者に対して、同協会会長表彰が行われ、次の方が受彰されました。

【被表彰者】（敬称略）

宮坂 文子 （山崎支部）
田畑 繁 （一宮支部）
山田 稔 （一宮支部）
小林 シズエ （波賀支部）
森脇 勇 （千種支部）

午後からのスポーツ大会では、各支部対抗の室内ペタンク大会が行われ、優勝に千種支部、準優勝に山崎支部が輝きました。

また、このたび、合併後同協会の初代会長として二年間務められ退任された西田吉計さんへ協会から、感謝状が贈られました。本当にご苦労様でした。